

50	農村プロデューサー養成講座	URL	https://www.maff.go.jp/j/nousin/course/index.html				
事業実施主体 (対象者)	支援対象・内容	補助率等	公募時期	事業要望調査時期	R6年度当初予算	問合せ先	
地方自治体職員 地域づくりに関心・ 意欲のある人	ソフト		5月～6月 ※実践コース		8,389の内数 (百万円) ※農山漁村振興交付金	農林水産省 農村振興局 農村政策部都市農村交流課 03-3502-5946	

《事業概要》

- “地域への愛着と共感を持ち、地域住民の思いを汲み取りながら、地域の将来像やそこで暮らす人々の希望の実現に向けてサポートする人材” 『農村プロデューサー』を養成。
- 「入門コース」と「実践コース」で構成。「実践コース」は、オンライン形式（ライブ配信）と対面形式を併用し、“実例を基にした模擬演習”や“研修生自らの実践活動”による現場力アップを重視。さらに修了後は、修了生や講師陣をつなぐネットワークを構築。

入門コース (定員なし)

1. 研修の目標

- ・農山漁村地域における、創意工夫にあふれる地域づくりの取組内容を学ぶことにより、地域づくりの実践に向けたプロセスを習得

2. 受講対象者

- ・地域づくりに関心のある者が幅広く参加可能
- ・実践コースの受講希望者は、入門コースを受講することが望ましい

3. 主な内容

オンライン講演 (ライブ配信)

- ・地域づくりに造詣の深い有識者による研究分野等に関する講義
- ・地域で活躍する実践者による活動プロセス等の紹介
- ・チャットを用いた質疑応答
- ・全6回 (各90分程度)

1. 研修の目標

- ・地域への愛着と共感を持ち、地域住民の思いを汲み取りながら、地域の将来像やそこで暮らす人々の希望の実現に向けてサポートできる人材 (農村プロデューサー)を養成

2. 受講対象者

- ・地方自治体職員※及び地域づくりに意欲がある者等

※ 地方自治体職員として、農林水産、社会教育、福祉、地域共生社会、企画等の部局の職員、地域担当職員、農林水産普及指導員（都道府県）、農業委員・農地利用最適化推進委員（市町村）等を想定

3. 主な内容

(1) オンライン講義 (ライブ配信)

- ・地域及び地域住民に関する現状把握や分析手法、実践に向けたロードマッピング等の基礎を学ぶ
- ・地域づくりに造詣の深い講師による講義
- ・チャットを用いた質疑応答
- ・2日間 (計6時間程度)

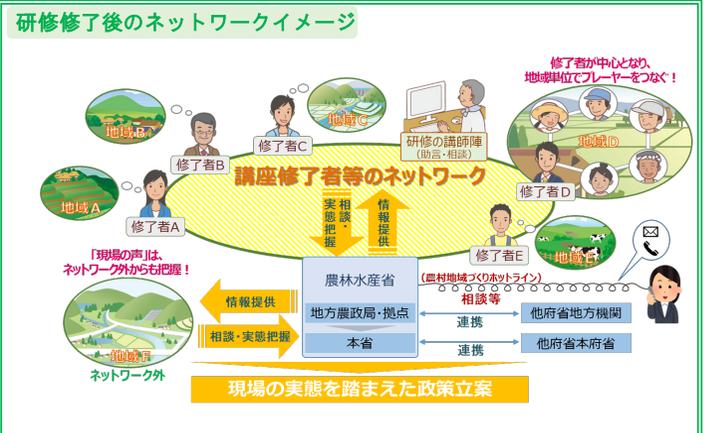
(2) 対面講義 (実例を基にした模擬演習等)

- ・ワークショップ形式の演習により、(1)で習得した手法を現場で実践するためのトレーニングを実施、また研修生同士の連携も推進
- ・2泊3日 (全国7会場で開催)

実践コース (120人程度)

(3) 研修生自らの実践活動+実践 [実地研修]

- ・研修生が取組む実践活動の中からモデルケースを選出
- ・受講生が取組む実践活動の中からモデルケースを選出
- ・受講生及び修了者は講師からのアドバイスを受け、現場レベルで企画・実践
- ・モデルケースを題材として、農村プロデューサーに求められるポイントをオンラインゼミで議論
- ・修了者が実践するモデルケースでは、修了者を対象に実地研修を開催



51	みどりの食料システム戦略推進総合対策 (有機農業推進総合対策事業)のうち 有機農業新規参入者技術習得等支援事業	URL	https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/yuuki/yosan_yuuki.html				
----	---	-----	---	--	--	--	--

事業実施主体 (対象者)	支援対象・内容	補助率等	公募時期	事業要望調査時期	R6年度当初予算	問合せ先
民間団体等	ソフト	定額	2月～3月頃 予定	/	650の内数 <small>(百万円)</small>	農林水産省 農業環境対策課 03-6744-2114

趣旨・目的 新たに有機農業に取り組む農業者が、国際水準の有機農業に関する技術的基準等を習得するため、有機JASに関する研修や初回のは場実地検査（有機JAS認証検査）を受講・受検する取組や品目別の有機栽培技術の講習会の開催や研修カリキュラムの内容調査、設計等を支援。

< 事業の内容 >	< 事業イメージ >
------------------------	-------------------------

1. 有機農業新規参入者技術習得支援事業

新たに有機農業に取り組む農業者の有機JAS認証の早期取得を促すため、**有機JASの制度や技術的基準に関する研修や初回のは場実地検査（有機JAS認証検査）を受講・受検する取組を支援するとともに、品目別の有機栽培技術の講習会の開催や研修カリキュラムの内容調査、設計等を支援します。**



< 事業の流れ >

